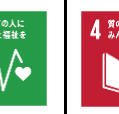
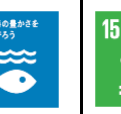
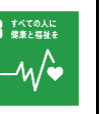
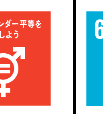


SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人 権 ・ 労 働	☐	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・従業員全体にコンプライアンス相談窓口を周知している ・ともに働く仲間の多様性や個性を尊重し働きやすい職場を実現することを就業規則（行動指針）に記載し、全社員に周知している ・コンプライアンス研修を毎年1回実施している ・コンプライアンスアンケートを実施し、状況把握に努めている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	☐	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・従業員全体にコンプライアンス相談窓口を周知している ・ともに働く仲間の多様性や個性を尊重し働きやすい職場を実現することを就業規則（行動指針）に記載し、全社員に周知している ・コンプライアンス研修を毎年1回実施している ・コンプライアンスアンケートを実施し、状況把握に努めている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	☐	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・社員の就業実績を職場管理者と毎月共有し、安全衛生委員会の場で労使・産業医の三者で確認している ・夏季及び年末年始、GW等に休暇取得促進キャンペーンを設定している ・あさ活・ゆう活を推奨している ・定時退社Day(毎月第2・第3水曜日)を設定している								8.5 8.8									
	☐	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現時点では外国人労働者はいない ・ともに働く仲間の多様性や個性を尊重し働きやすい職場を実現することを就業規則（行動指針）に記載し、全社員に周知している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	☐	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・労働安全衛生委員会の場で事故防止に関する意見交換を実施している ・全職場で事故やヒヤリハット事例を水平共有し、再発防止に努めている ・安全行動目標を毎月設定し、全社員で指差呼称を実施している			3					8									
	☐	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・希望する社員が産業医面談を受けられる仕組みを設けている ・年1回ストレスチェックを実施し、必要に応じて産業医の面談を行っている ・長時間労働者に対して産業医の面談を義務付けている			3														
	☐	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・障がい雇用率以上の障がい者を採用している ・60歳定年以降の再雇用を実施している ・事務所のバリアフリー化を推進している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	☐	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・事業運営上で必要となる資格の更新管理・研修を実施している ・新入社員の相談役として、サポーター制度を導入している ・通信教育の費用補填の制度を実施している				4	5.5			8	9								
	☐	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・労働法制に関する外部セミナー等を活用して法改正情報を把握し、関連法令やガイドラインに則った対応を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	☐	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・毎月の安全衛生委員会で、疾病や長期休業者の状況を確認している ・定期健康診断の受診状況を管理し、完全受診に取り組んでいる ・健診事務代行サービスを活用し、社員の利便性向上を図っている ・休暇取得促進やあさ活・ゆう活、定時退社Dayを通じ、メリハリある働き方を推奨している ・業務開始前にラジオ体操を実施している			3					8									
環 境	☐	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の種類・量を把握し、適切な分別・処理を実施している ・産業廃棄物処理業者は、優良認定業者を選定している										11.6	12.4		14.1				
	☐	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・水道・電気・ガス利用量を月別に把握している ・温室効果ガス排出量を把握している							7.3					13					
	☐	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・クールビズ、ウォームビズ、昼休みの執務室消灯を実施している ・自社施設に太陽光パネルを設置している ・長野県家庭の省エネサポート事業者に登録し、省エネアドバイザー(83名)が活動をしている ・温室効果ガス排出量を把握している							7.2 7.3				12.4	13.3					
	☐	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・SDS（製品安全データシート）に基づいた適切な管理・使用を行っている			3.9			6.3				11.6	12.4						
	☐	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境にやさしい都市ガスの普及、省エネガス機器の促進実施している						6.6								15			

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル		主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
16	▫	【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・環境に配慮したお料理教室（エコ・クッキング）を開催している ・ガス配管材料（ポリエチレン管）のリサイクルを実施している ・コピー用紙の裏紙使用、会議のペーパーレス化を推進している												12.5		14.1			
17	▫	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・水道の利用状況を管理している ・節水型設備（トイレ・蛇口）の導入を推進している						6.4 6.6											
18	▫	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・当社独自の環境マネジメント体制を構築している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	▫	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・自社ホームページにて「環境への取組み」として、環境方針を公開している												12.6					
20	▫	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・お客さまへの太陽光発電設備の販売を行っている ・自社施設に太陽光パネルを設置している							7.2						13				
21	▫	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・お客さまに対して省エネガス機器の導入促進、効率的なエネルギーシステム・サービスの提案を実施している												12.2	13	14	15		
22	▫	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・従業員全体にコンプライアンス相談窓口を周知している ・常にクリーンでフェアな業務を行うこと、良識と高い倫理観に基づいた行動をすること就業規則（行動指針）に定め、全社員に周知している ・コンプライアンス研修を毎年1回実施している ・コンプライアンスアンケートを実施して状況把握に努めている																16 16.5	
23	▫	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・従業員全体にコンプライアンス相談窓口を周知している ・ステークホルダーに対して誠実・公正に対応することを就業規則（行動指針）に定め、全社員に周知している ・コンプライアンス研修を毎年1回実施している ・コンプライアンスアンケートを実施して状況把握に努めている																16	
24	▫	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・商標等の知的財産について、登録・管理を行っている								8.2 8.3	9								
25	▫	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・情報管理委員会の設置、情報セキュリティ管理規則を定め、個人情報を適切に管理している ・情報セキュリティ教育を毎年実施している																16	
26	▫	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・取り扱っていない（取り扱う予定もない）																16	
27	▫	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・ステークホルダーに対して誠実・公正に対応することを就業規則（行動指針）に定め、全社員に周知している ・コンプライアンスアンケートを実施して状況把握に努めている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	▫	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・ガス供給設備、お客さまのガス消費機器の定期点検の実施 ・緊急時に備え、24時間365日保安体制を構築している ・ガス漏れ警報器・業務用換気センサー（CO警報器）の普及促進を行っている			3.9									12.4					
29	▫	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・お客さまの声ハガキを活用し、要望・苦情に対して業務改善を推進している									9								
30	▫	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・ガス工事における環境負荷の低減に向けた取り組みを実施している（排出土量の削減、埋め戻し材料に再生骨材の利用） ・省エネガス機器の提案・導入促進を行っている						6						12	13	14	15		
31	▫	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・環境にやさしい都市ガスの普及、省エネガス機器の導入促進を行っている ・ヒートショックによる事故を防止するため、長野県ヒートショック啓発推進委員会に参画している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル		主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
32	社会貢献・地域貢献	□ 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・安全かつ安定的なガス供給を可能とするため、経年管の取替えや供給設備の改善、導管網の整備等、供給システムの改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
33		□ 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・県、市町村の防災訓練に参画している ・献血に協力している ・地域のスポーツチームに協賛している ・地域のお祭りや防災・環境イベントに参加している				4							11			14	15		17
34		□ 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・環境に配慮した料理教室（エコ・クッキング）を開催しており、地産地消を推進・推奨している ・県産食材を使用した料理コンテストを開催し、地消地産を推進・推奨している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□ 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・経営者が適宜、経営理念・行動指針・経営目標を社員に説明し共有している ・経営理念や行動指針、スローガンの理解浸透を目的とした勉強会を開催している								8	9								17
36		□ 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・従業員全体にコンプライアンス相談窓口を周知している ・法令や諸規則の遵守について就業規則（行動指針）に定め、全社員に周知している ・コンプライアンス研修を毎年1回実施している ・コンプライアンスアンケートを実施して状況把握に努めている																16	
37		□ 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・各種委員会等（環境推進会議、リスク管理委員会等）を設置し、状況を確認・評価し、具体的な対策の検討・実施を行っている																16	
38		□ 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・お客さまの声ハガキや、お客さまとの接点機会を通じてお客さまのご意見・ご要望を把握し、業務改善・お客さまの住生活改善に努めている																16	17
39		□ 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスク管理委員会を設置し、状況を確認・評価し、具体的な対策の検討・実施を行っている																16	
40		□ 【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・環境に優しい都市ガスの普及促進と、安全かつ安定的な都市ガス供給に努めている																16	
41		□ 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・地震・事故時の事業継続計画（BCP）を策定し、毎年、事故や災害に備えた訓練を実施している ・災害時の事業継続のため、非常食の配備、非常用発電設備を設置している									9		11		13 13.1			16	
42		□ 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・継続的な人材採用、教育・育成を行っている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
・地球温暖化対策として、エネルギー利用者のCO2排出量削減に寄与する活動を行っている	CO2排出量が少ない都市ガスの普及促進と、省エネガス機器・効率的なエネルギーシステムの提案・導入促進を行っている							7		9		11		13				
・健康長寿に関する取り組みを行っている	食育活動の推進、ガス機器の導入を通じた快適な住生活の提案、長野県ヒートショック啓発推進委員会への参画を行っている			3														
・地域社会の安定的なエネルギー利用に関する取り組みを行っている	エネルギー利用者のBCP対策として、電源多重化を可能とするガスコージェネレーションの導入提案を行っている							7		9		11		13				

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）